

万代の風

万代コミ協だより第32号

2019年(平成31年)1月25日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

= 根をはった地域活動の組織づくり =

時にできた制度。 実は何も知らずにこの組織の中に入れられてしまって、何が何だか全くわからな
いまま今に至っている」というのが本音です。

皆様のおかげでなんとか支えられて様々な活動を行つてあります。実はこの「皆様に支えられ
て」というのが本当の「ミ協の仕事なんだ!」、ということを理解致しました。巷間、「行政の下請」とか、いわれますが、確かにそ
ういう面もあります。しかし実際は「共助」の組織。「自治会レベル
では対応が難しい問題」とか「複数の自治会を跨ぐ問題」などの調
整などをやっております。

行政が望む本来の「ミ協」の姿とは若干の違いがあるとは思
いますが、地域に根をはった組織でありたいと、丸田会長の思いを
伝えるべく活動しております。



「おめでたす？」
あけましておめでたす。この
年もよろしくお世話になります。
日頃よりご支援、ご協力を賜
りましてこの紙面をお借りして
厚く御申し上げます。

万代地域ツリユーティ協議会
副会長：竹石 三伸

新たな年をむかえて

ところで「
三協（地域
ミユーティ協
議会）」とはな
にか？「ミニ
協は新潟市が
政令指定都市
になつたと同
様は何を仰つ

今後とも変わらない「協力を賜りたくよろしくお願ひ致します。加えまして、昨今の自治会の役員の「参加者不足」が深刻な問題となつております。自治会も「ミ協も同じ「自治組織」なので自分たちが治めなければいけません。多数のための一人（代表）ではなく、一人（リーダー）を多数で支えて行く組織。それが自治会であり、コ「ミ協なのです。今後とも活動を続けていくため皆様の参加を心よりお待ち致しております。最後になりますが本年も皆様の健康とご多幸を祈念申し上げます。



万代長謙小学校6年生



万代地区防連

中野小路たかまろ 新潟弁で語る防犯漫談
「特殊詐欺被害防止お笑い広報大使」
警察退職後県防犯アドバイザーとして
県内を飛び回っています。

丁・P担当（事務局）武田 徳広
「この度当社の工事をつづけインレ
ました。（収録10分の1、情報量2回。
広報誌『万代の風』からの転載が多いで
すが、独自記事を取材、拡充していくおほ
すので、応援よろしくお願いします。）

12月	12月	12月	11月	10月	10月	11月	12月
月	月	月	月	月	月	月	年
21日	20日	17日	15日	27日	26日	29日	30日
日	日	日	日	日	日	日	年

万代地域「ミ協活動」平成30年11月～12月

「ミ協講演会」「ミ協連絡会」

富浦中学校 教育マーティング

包括支援しづみづり 江東「ミ協連絡会議

育成協議会年末街頭宣伝

キヤンペーン
「ミ協連絡会・研修会」
新潟駅前バートホール
宮浦東新潟園

め定期的に用一回訪問
配布をする事業です。



福祉部会
年末に、反対事業の歳末助け合
い事業として、希望されるお宅に
おせち料理をお届けしました。

いお供の人達は前日より当地へ先乗りし分散して宿泊した。安倍家では廄、馬車、輿の格納庫を新設し更に沿垂へ向かう御成り道を新しく開鑿して古信濃川に王橋を新架した。安倍家の話に依れば天皇は午前十時半頃に馬車に乗り新発田へ出発された。開村以来の大慶事で有り近郷近在から御籠顔を拝すべく奉迎の人々は山をなした。特徴として古信濃川に王橋を新架した。安倍家の話に依れば天皇は前もつて数箇所の井戸の水質検査がなされ沿垂の老舗和菓子店櫻井勘桂の井戸水が良質と決まり用いられた。戦前は天皇のご休憩所「鳳趾閣」は文部省が国の聖跡と定め毎年九月十九日を記念日として学童達が訪れ御座所を拝し安倍家からお菓子が振舞われた。



二安倍邸「鳳趾閣(ふうしかく)」のこと

流作場どっと萬代 その8

次鳳趾閣は当流作場の開祖安倍邸に明治十一年明治天皇が北陸東海御巡行の途次小休所とせられた安倍家の「(あん)在所(さいしょ)」の名称である。慶應四年(一八六八)朝廷方・幕府方に分かれて戦った戊辰戦争は朝廷方に勝利して明治と改元し天皇親政の明治維新は成った。明治天皇は新しい国造りのため民情視察を行い民心の安定と日本国民の意識統一を図った。明治十一年五月二十三日(一八七八)太政官で北陸東海民情視察が決まり同日新潟県令永盛輝に内示があつた。天皇の御巡行には行在所を始め供奉者の宿舎、道中警護、道普請(橋普請、衛生管理その他付帯の事柄で多額の経費を要し國のみで警護)、宿泊施設等は地域の旧家、地主、大商家、本陣、神社仏閣などが担当された。その行程は明治三十日新潟県へ入り九月十六日寺泊、弥彦、内野、赤塚を通り新潟へ到着。三日間に亘り視察された。九月十九日午前七時白瀬邸を出発。新潟裁判所、博物館などを行在所白瀬成熙邸に宿泊され県庁舎、新潟学校、新潟裁判所、新造の御座船などを遡りながら漁舟などを謁見月帰一倍休乗られ二十五人の船頭達が威儀を正し田出度い「お舟歌」を高唱しながら漁舟などを謁見月帰一倍休乗られ

三艘の曳き船に曳かれて多数の供奉船と共に日本晴れの信濃川を渡り安倍家新設の桟橋に到着(午前八時頃か)安倍九一造の先導で二百メートルほど歩行され新設の行在所玉座に着き休息された。安倍家は右大臣岩倉具視を始め供奉者一同へ梨六百貫余を贈った。供奉者総数八百三十人、乗馬は天皇の愛馬金華山号をはじめ百十六頭、写真師二名、クリーニング係り十四名、ほかに新聞記者六名が随行していた。馬や馬車、輿の運搬と数多



12月6日、平成30年1月6日、エリザベス・ジョン・ショーン創出事業の一環として、第5回エリザベス・ジョン・セミナーを開催しました。講師には福岡県の津屋崎ブランチ代表山口覚氏を招聘し、&ワークショップを開催しました。講師には福岡県の津屋崎ブランチ代表山口覚氏を招聘し、移住者と元からの住民とが協力したままおこし活動についての講演を聞いた後、参加者で対話を目的としたワークショップを行いました。

T.Base 天本浩未



講師: 津屋崎ブランチ 山口 覚氏を囲んで
ワークショップ参加のみなさん

みやの万代ぶつぶつ

今年は4月は統一地方選、7月に参議院選挙の年である。

専門は政治学と心理学を融合させた政治心理学。具体的には、投票や政治家のリーダーシップなど日本の政治行動を研究している。衆院選(昨年10月)の投票率は53%台です。残りの5割近くの有権者はどうして棄権するのか。その心理状態に関心がありました。選挙年齢が18歳以上になりました。でも若者の政治への関心は低いですね。さまざまな要因がありますが、自分の1票では何も変えることができないと思っていることが大きい。来日してから30年以上経つ。日本国籍も取得した。イスラエル生まれの研究者に、今の日本の姿が映るか。あこがれの国だった日本は今、並みの国になってしまいました。日本に来る留学生も中国の方が面白いと感じています。(談・同志社大学教授 オフェル・フェルトマンさん)(本文資料: 東京新聞から)

人口減少と高齢化で日本は正念場をむかえます。だから税金の使い道などに关心をもち、もっと一人ひとりが発言してほしい。広報委員: 宮川 善徳

新しい元号となる節目の年を迎えるばかり。広報委員長: 田所 晓雄

編集後記

は関東からみれば、新潟県全部が冬景色と大雪の印象で、安否の電話をよくして子供のころどちがつて氷柱(つらぎ)はあまり見られなくなりました。新潟の冬の一つ冬の嵐に見舞われ、右往左往してようやく冬が越せることになります。除雪未熟の新潟に、雪が少ないことを祈るばかり。